



今回は、彦根愛知犬上介護保険事業者協議会から話題提供をしていただきました。そのあと、10のグループに分かれて意見交換を行いました。

## 『認知症高齢者へのいろいろな関わり』

彦根愛知犬上介護保険事業者協議会

善利 彩乃氏



介護者家族との交流が深まる  
利用者さんを見る視点の変化、目標設定の明確化  
ステキなところ探し…等

認知症の予防・改善を  
めざした非薬物療法。  
『読み書き』『計算』  
『コミュニケーション』が脳を活性化。

## 山口 康子氏



「認知症の診断があり、病状の安定した高齢者に対して日常生活における援助などを行うことにより認知症の進行を緩やかにし、家庭的な環境の下で精神的に安定して健康で明るい生活が送れるように支援する」



冬の間は特に足腰が弱っている  
ので、参道を元気に歩けるように  
足を鍛えよう。ホーム内で筋力ト  
レーニング実施。



◆脳機能改善効果をMMSE(認知機能検査)で科学的に実証(\*FABは前頭葉機能検査)



## 認知症カフェよってっ亭

昼間はひとりなので近所のお連れさんと  
 誘い合ってカフェを楽しみにしている  
 固苦しくなく気軽に相談ができてうれしい  
 いろんな助言が聞ける  
 ここに来たら元気になる

## 学習療法について

- ◆認知症を治すことは難しいが進行を遅らせることへの取り組みとして、データーの改善が目的ではなくQOLの改善を目的とした取り組みとして行われるとよい。
- ◆職員や家族の気づき、情報の共有ができるようになることはよいこと
- ◆楽しいこと、うれしいことで脳が活性化。学習療法だけでなく他の取り組みでもできるのではないかと感じた。
- ◆学習療法を通して、その人のできるところを見る、スタッフの対応がスムーズになる、家族の困り事がわかるのは良い。
- ◆学習療法は一つのツールとして利用。皆が同じ方向性を持って支援していくための一つの手段であると感じた
- ◆成果がみられることによって、職員も家族も良いほうに変化していることに、興味がわいた



## 認知症カフェ

### 「よってっ亭」

の取り組みをより多くの人に知ってもらえるとよい。



「ひと言から始まるケアプラン」。身近な目標設定、達成できた時の喜びにつながるといことが、ケアマネとして大変勉強になった。



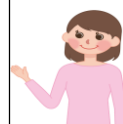
「認知症を治すことは難しいけれど、進行をゆるやかにし、今の機能をできるだけ維持していくかわかりが大事。認知症ケアの最前線で奮闘されている介護職員さんの声がたくさん聞けました」

“27年度の研究会は、テーマごとに事例を出しながら多職種連携について考えていきましょう！”

**ご参加ください！ ことう地域チームケア研究会**

お知らせメールの登録をお願いします

ことう地域チームケア研究会では、研究会の開催状況や、次回のご案内をメールでお知らせします。ご希望の方は、① お名前 ② ご所属 ③ ひとこと をいれて事務局までメール送信してください  
☆事務局 (mail) [info@gen-ai-ken-kaigo.jp](mailto:info@gen-ai-ken-kaigo.jp)



次回は…平成27年5月 14日 (木) 18:30~20:30

テーマ：『その人の望む暮らしを支える訪問看護のケア』

会場：くすのきセンター1階研修室

担当団体：第5地区訪問看護ステーション連絡協議会

\*申し込み不要、当日会場へお越しください

問い合わせ先：ことう地域チームケア研究会事務局

彦根愛知犬上介護保険事業者協議会 (TEL 49-2455)

彦根市医療福祉推進課 (TEL 24-0828)

## グループホームの取り組みについて

- ◆本人の声が実現できるようになるには何が必要なのかという言葉(要望)を対話の中から引き出し、必要なものを積み重ねて生まれてきているのかと感じた。
- ◆本人がどのように暮らしていきたいのかアセスメントすることが大事なんだと思った。
- ◆自分の得意分野で生きがいを見つけて頑張って生活をしてもらえるのがとても良い。
- ◆「三者の笑顔」ということがとても良いと感じた。
- ◆安心して過ごせる、その人らしく生活できるようにケアすることが大切だと感じた。
- ◆看護職が不在であるのに看取りにも取り組まれているのはすごいと感じた
- ◆グループホームでの防災訓練の実施、地域の方とのつながりがあり素晴らしいホームだと感じた。



歯科医師のかかわりはどうか。認知症の方に対して健診や口腔ケアを導入している施設はどのくらいあるのか知りたいと思った。

デイサービスやグループホームの地域での取り組みをうかがって「いいな」と思い、「できるところから頑張りたいな」とやる気をもらえました

支援者自身もつらくならないよう地域ぐるみで支えていく必要がある。地域づくりが大事

看護師として、他施設の情報を得て他に伝達したり、薬局でも今回の学びを業務に活かしていきたい。



HP「在宅医療福祉の森」でも研究会のホームページをご覧ください。黄色矢印をクリック

